

平成28年度（2016年度）

市民意識調査結果報告書



平成29年3月

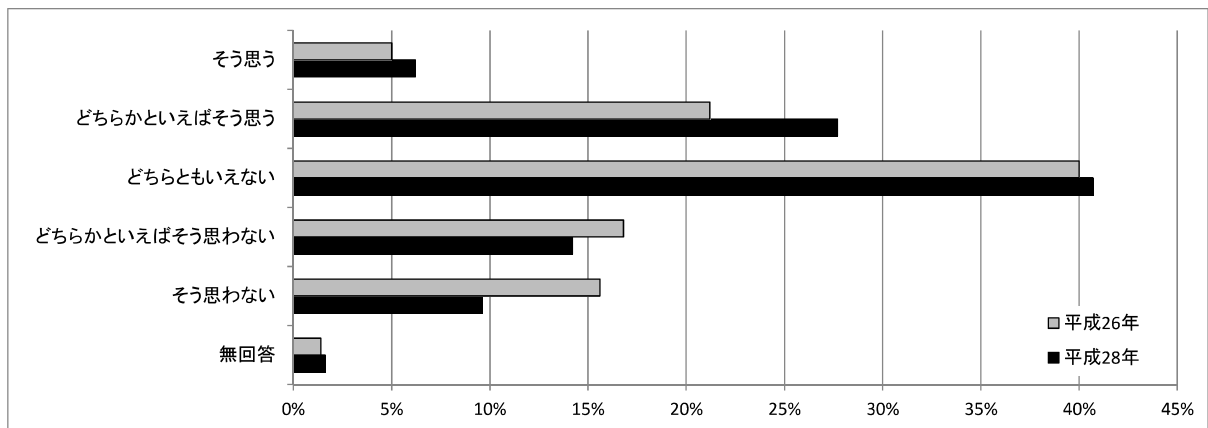
南丹市企画政策部 定住・企画戦略課

アンケート調査結果

18

南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	47	5.0	49	6.2
どちらかといえばそう思う	199	21.2	222	27.7
どちらともいえない	376	40.0	326	40.7
どちらかといえばそう思わない	158	16.8	114	14.2
そう思わない	146	15.6	77	9.6
無回答	13	1.4	13	1.6
合計	939	100.0	801	100.0



3人に1人が「南丹市は協働してまちづくりに取り組んでいない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は33.9%と、平成26年度調査より7.7ポイント増加しています。

また、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は23.8%と、平成26年度調査より8.6ポイント減少しています。

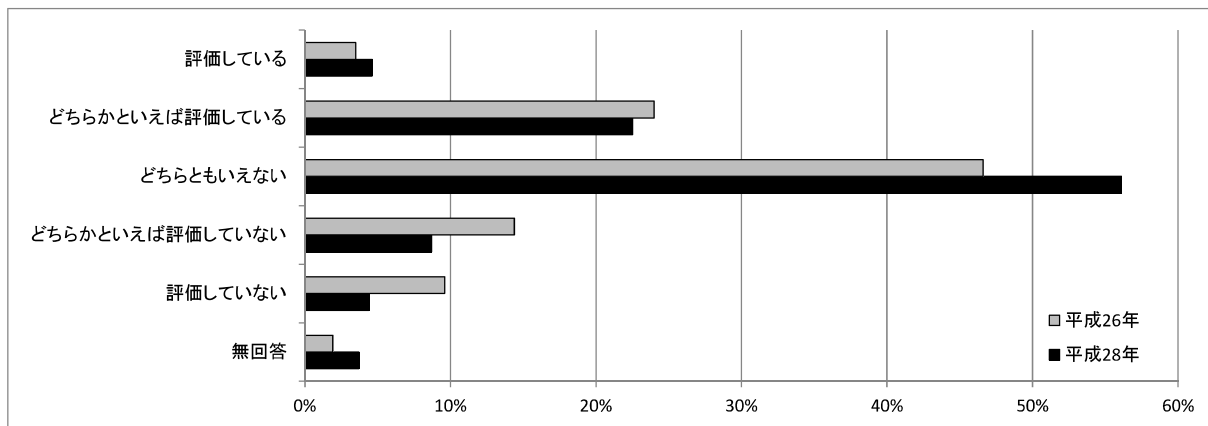
しかし、「どちらともいえない」と回答された方は40.7%と最も多く、市民の約4割が回答を保留しており、依然として南丹市は住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいるとは言い切れない状況にあります。

アンケート調査結果

24-1

総合的に見て、南丹市が行っている市政運営をどう評価されますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
評価している	33	3.5	37	4.6
どちらかといえば評価している	225	24.0	180	22.5
どちらともいえない	438	46.6	449	56.1
どちらかといえば評価していない	135	14.4	70	8.7
評価していない	90	9.6	35	4.4
無回答	18	1.9	30	3.7
合計	939	100.0	801	100.0



市民の半数以上が市政運営は「どちらともいえない」と回答

「評価している」は4.6%、「どちらかといえば評価している」は22.5%と、市民の3割弱がサービスを評価していると回答されています。

また、「評価していない」または「どちらかといえば評価していない」と回答された方は13.1%と、平成26年度調査より10.9ポイント減少しています。

しかし、「どちらともいえない」は56.1%と最も多く、市民の半数以上が回答を保留しています。

II アンケート調査結果

26

南丹市をもっと住みよいまちにするために、市民の皆さんができることはどのようなことだと思いますか。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	-		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
市民が互いに協力し、地域を美しくすること			330	16.5
地域で困っている人を地域が支え合うこと			383	19.2
市民が互いに協力し、地域の安心・安全を守ること			428	21.4
地域の行事や祭りを担う後継者を育てること			194	9.7
地域の公園や公共施設の管理などを地域で行うこと			99	5.0
福祉や環境保全などのボランティア活動に参加すること			94	4.7
NPOなどの市民主体の団体・組織をつくること			39	2.0
知識や技術のある市民が指導にあたるなど生涯学習に参画すること			120	6.0
市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと			214	10.7
その他			33	1.6
特になし			32	1.6
無回答			33	1.6
合計	0	0.0	1,999	100.0